

JENESYS2015 (招へいプログラム)

(対象国:ラオス、テーマ:(社会)法律・司法交流)の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、ラオスより、法律・司法に関心を有する大学生計 20 名が来日し、日本の政治、社会、歴史、日本語および日本文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2 月 16 日から 2 月 23 日までの 7 日 8 泊の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

ラオス 20名

3. 訪問地

東京都、宮城県

4. 日程

- 2月16日(火) 成田国際空港より入国、来日オリエンテーション
- 2月17日(水) 【日本理解講義、基調講演】【視察】東京地方裁判所、法務省資料ギャラリー【視察】皇居
- 2月18日(木) 東京都から宮城県へ移動【地方自治体表敬訪問・地域概要講義】宮城県庁【視察】法テラス宮城
- 2月19日(金) 【学校交流】東北学院大学 土樋キャンパス 【伝統文化体験】鳴子こけしの絵付け体験 (於:吉野作造記念館) 【ホームステイ対面式】、【ホームステイ】
- 2月20日(土) 【ホームステイ】
- 2月21日(日) 【ホームステイ】、【ワークショップ】
- 2月22日(月) 宮城県から東京都へ移動 【成果報告会】訪日成果・帰国後活動計画発表
- 2月23日(火)成田国際空港より出国

5. プログラム記録写真



2/17【日本理解講義、基調講演】(東京都)



2/18 【視察】法テラス宮城 (宮城県仙台市)



2/19 【学校交流】東北学院大学 土樋キャンパス (宮城県仙台市)



2/19 【伝統文化体験】鳴子こけしの絵付け 体験(宮城県大崎市)



2/19 茶道体験(宮城県大崎市)



2/22【成果報告会】訪日成果·帰国後活動計 画発表(千葉県浦安市)

6. 参加者の感想

◆ ラオス 大学生

今回の来日で一番感激したのは法テラスです。このセンターは特に法律相談の費用が 出せず困っている人たちを助けてくれる機関だからです。法テラスは男女、貧富を問わ ず、どんな職業の人も、日本人でも外国人でも平等に、人道的立場から法律に関する支 援を行なってくれます。このセンターの存在を通して、思いやり深く、高貴な日本人の 心を感じることができました。

法テラスは、裁判費用が出せずに困っている人に、前払いで費用を立て替えてくれます。そして一度に返済できない人は分割払いすることも可能です。このしくみは、日本政府が社会における司法の平等を支援推進している現れだと思います。法テラスの見学を通して、日本が司法を応援し、しっかりした司法制度を作っているということが一番心に残りました。

◆ ラオス 大学生

今回は初めての来日だったので、本当にいろいろな知識と経験を得ることができ、そのすべてが私にとって大きな意味を持つものでした。その中でも印象に残っているのは次の三点です。

一つめは、裁判所と法テラスの見学で、自分が勉強している法律分野の多くの知識と 情報を得ることができ、意見交換もすることができたことです。

二つ目は、日本のどの都市に行っても秩序正しく清潔で美しく整備されていたことです。これは日本が法治国家であることの現れだと思うので、国に帰ってからみんなに広めたいと思います。

三つ目は、思いやり、良い人間関係、礼儀といった日本の文化です。ホームステイで 実際の日本人の生活を垣間見、温かい心に触れました。ホストファミリーは、本当のお 父さんお母さんのように接してくださり、別れたくないと思いました。また是非日本に 帰って来たいと思います。

♦ ラオス 大学生

私が一番感激して国に帰ってから伝えたいと思ったのは、特に東京の交通システムです。東京には沢山の人が住んでいるということは来日する前から知っていましたが、それでも全く問題が起こっていないことにびっくりしました。交通システムがとても良く整っていて、近代的な設備や標識や、高速道路や電車の路線が整備され、自家用車の利用を減らす努力をするなど、都心に交通が集中しないような工夫がされているからだということがわかりました。さらに日本人は徒歩や自転車でも通勤するため、私たちがよく見るようなひどい交通渋滞が起こるという問題が、日本では起こらないのです。 感激した二つめの点は、日本人の生活と文化です。日本人は性格が良く礼儀正しい人たちです。特に日本人が清潔さを大切にしていることが印象的でした。ホテルやレストラン

ではどこでも分別して捨てるゴミ箱が整備されていて、皆ゴミをきちんと分けて捨てています。三つ目は、日本人が温かい人間関係を大切にしているところです。ホームステイでは、日本のお父さんお母さんが私達をとても温かく歓迎してくださり、とても良くしてくださいました。ホームステイでの体験が今回一番うれしく光栄に感じたことです。

7. 報告会での報告内容(日本での気づき・帰国後の発信計画)

